

熊野の歴史

(研究ノート・第4号)

熊野の歴史

(研究ノート・第4号)

目 次

新聞記事（大正15年～昭和11年）にみる熊野町および安芸郡(1)	1
明治期熊野村の行財政・産業経済関係の資料	13

新聞記事（大正15年～昭和11年）にみる 熊野町および安芸郡（一）

佐 中 忠 司

安芸地方ならびに熊野町に関連した新聞記事の見出しを一覧したものをここに
かかげる。「中国新聞」（呉市立図書館蔵）の大正15年から昭和11年にいたる見
出しを、学生諸君の協力をえてひろいだしたものである。記述の方法等、必ずし
も満足すべきものではないかも知れないが、参考となれば幸いである。なお、こ
の事は、ひきつづいて行なわれる予定であり、今回はその一部であることをお
ことわりしておく。

なお、この仕事にたいしては、呉市史編纂室の千田武志主査、同川上義治氏の
厚意をいただいた。ここに謝意を表しておきたい。

中国新聞

大正15年	9月2日(木)	(二)	伊藤分会長へ功労記念 -----
	9日(木)	(一)	日本一の筆の村に死活 -----
	12日(日)	(二)	追分同窓会
	14日(火)	(二)	五万貫の巨岩が -----
	10月1日(金)	(二)	研究会出席者 -----
	3日(日)	(二)	労力奉仕
	7日(木)	(二)	連合運動会
	9日(土)	(二)	熊野婦徳高女運動会
	12日(火)	(二)	熊野連合体育大会
	14日(木)	(二)	青年会館上棟式
	11月1日	(三)	3 熊野町青年団総会
	2日	(二)	14 昨夜廣瀬町洞春橋で、加害者高夫は安芸郡熊 野町生れの

	11月9日	(二) 82	本庄村会
	10日	(二) 90	安芸郡算術研究会
	11日	(二) 98	海田市署管内 兵事事務研究会
	27日	(二) 254	熊野町の精神病患者、牛小舎に放火し火炎中へ 飛込む
	28日	(二) 262	秘めたる宿の罪、その為に離別され無念に堪 へず告訴す
	28日	(二) 266	安芸郡家庭看護講演
昭和元年	12月9日	(二) 74	安芸郡町村長会
	14日	(二) 122	安芸郡郡医師会総会
	15日	(二) 134	安芸郡社会奉仕
	19日	(二) 170	安芸郡農会主催農産物品評会
	22日	(二) 218	緊急町会を開き熊野町の奉伺
	28日	(二) 266	本庄村遙拜式
昭和2年	1月6日	(二) 50	少年惨死
	15日	(二) 134	算術研究会
	23日	(二) 214	北本庄信組総会
	2月7日	(五) 55	熊野青年弁論大会
	8日	(七) 71	奥海田の山火事
	24日	(五) 217	安芸郡教員会
	28日	(一) 247	軍人会役員功労者表彰
	30日	(二) 270	安芸郡購買組合連合総会
	5月11日	(二) 88	厭世から猫イラズ
	29日	(五) 243	安芸郡青年雄弁会
	31日	(二) 260	簡閲點呼 広聯管内
	6月8日	(二) 59	罵られて二人を斬る
	13日	(七) 104	安芸郡教員体育大会
	9月6日	(一) 45	安芸郡激戦区なる

	9月15日	(一)	113	政見発表 肥田辰之助氏 十六日熊野劇場
	10月10日	(七)	79	安芸郡連合分会射撃大会
	17日	(三)	131	秋季例祭(本庄村)
	12月31日	(二)	240	青年雄弁大会
	10月2日	(三)	13	山陽事蹟講演
	10日	(三)	93	戦病死者凱旋奉口祭
	24日	(三)	233	安芸郡連盟 庭球大会
	11月14日	(三)	135	理科研究大会
	12月5日	(三)	43	安芸郡教員会第一支部総会
	12日	(三)	116	四青訓生連合野外演習
	19日	(三)	182	教弁物研究会 奉安庫落成式
昭和3年	1月27日	(二)	232	広島通常県会、町村道府県道…内海熊野線…
	2月16日	(二)	126	中等学校入学案内(二) 婦徳高等女学校
	19日	(三)	159	軍人分会総会
	23日	(三)	199	賀茂安芸連合歯科医科会総会
	24日	(三)	211	安芸郡北部の興味深き接戦
	3月1日	(二)	2	貨物列車に少年轢かる
	10日	(一)	75	広連管内徴兵検査町村別日割り
	18日	(五)	151	臨時家畜市場
	28日	(五)	238	わが社見学の人々
	4月2日	(三)	13	熊野町の近郡庭球大会
	5日	(一)	35	師範卒業生配置
	5月23日	(七)	203	復縁を刎ねられ放火して斬る
	27日	(三)	237	教育行事打合
	6月6日	(二)	42	筆屋の押売り
	9日	(三)	71	熊野町賭博
	19日	(二)	159	熊野町の惨劇

- 20日 (二) 167 兇行後自殺をはかる 熊野の惨劇犯人
- 26日 (一) 216 安佐、佐伯両郡を中心に広島県下各地の大
害
- 7月3日 (三) 181 保護者会
- 28日 (二) 220 父性愛から一放火殺人……
- 9月3日 (五) 107 真宗安芸婦人会……
- 10月2日 (三) 15 安芸郡児童体育大会
- 3日 (二) 26 一家五人以上の兵工を出した家
- 3日 (三) 27 海田市署異動
- 16日 (一) 153 雄弁大会の準備全く整ふ
- 27日 (二) 275 女の無情から放火と傷害
- 31日 (七) 313 電信応用の巧妙な智能犯人
- 11月19日 (三) 175 奉安庫寄贈
- 昭和4年** 1月6日 (二) 60 安芸郡農会経営研究会
- 28日 (三) 253 熊野町長の予選
- 3月17日 (五) 149 安芸郡懇願書発送
- 19日 (五) 167 安芸郡神職支会総会
- 20日 (四) 182 安芸郡観業職員会合
- 20日 (四) 182 熊野校学芸会
- 21日 (四) 195 婦徳高女卒業式
- 26日 (五) 227 実戦の幕を切る一町議選挙運動
- 4月3日 (二) 18 町村議当選者
- 3日 (三) 19 海田市署異動
- 5日 (五) 37 新舊對等の当選
- 6月1日 (二) 6 知事から賞與
- 15日 (二) 113 広島連隊区管内簡閲點呼
- 7月12日 (二) 93 ピストルで三名を撃つ
- 18日 (一) 145 県下の中等教員を全部加入せしめて第二部婦

徳高女

- 22日 (三) 177 法螺を吹いて結婚詐欺
- 23日 (二) 188 乗合自動車崖下へ墜落
- 27日 (二) 226 拳銃密輸事件でけさ検事局活動
- 8月12日 (三) 107 噂に上る本庄村の人魂
- 22日 (二) 208 忍込み
- 23日 (六) 214 海田市署は前年同様
- 9月11日 (二) 94 赤十字社功労者
- 15日 (三) 139 安芸郡の晩秋蠶
- 17日 (二) 164 熊野の火事
- 10月1日 (二) 8 役馬共進会
- 6日 (三) 53 安芸郡児童体育大会
- 20日 (三) 201 熊野校運動会
- 21日 (四) 214 広島招魂祭委員 ○自動車ノ部
- 11月3日 (三) 22 学校などで姦通した
- 4日 (三) 27 熊野町青年団大会
- 4日 (三) 27 懸案のSK式真空消毒器設置竣工式
- 5日 (七) 37 トラックと列車の衝突
- 15日 (二) 136 結婚詐欺その上泥棒
- 18日 (三) 161 海田市署非常召集
- 25日 (三) 233 書道研究大会
- 12月1日 (三) 2 広島県の町村道県道へ編入
- 6日 (二) 56 熊野の殺傷事件
- 9日 (三) 82 安芸郡教員会
- 9日 (三) 182 道路奉仕作業
- 9日 (三) 182 毛筆王国の郷土色を現はす
- 9日 (三) 182 喧嘩のほかにも罪あり
- 昭和5年 1月1日 (五) 17 謹賀新年 9ヶ所

	1月1日	(五)	33	賀正 熊野町役場
	18日	(二)	190	コドモ懸賞当選者発表
	20日	(四)	206	ここにも賭博 熊野町で
	25日	(三)	256	俳句 安芸郡本庄北校
	2月1日	(七)	5	早く逃げよの意味、熊野町のピストル事件
	4月2日	(二)	12	広島県教員移動
	3日	(四)	23	安芸郡町村会同
	5月18日	(六)	169	安芸郡町村印紙税検査
	20日	(二)	185	中等校配属将校が青訓教練を補助
	21日	(四)	196	安芸郡の春蠶成績
	23日	(四)	216	安芸郡の麥作減収
	30日	(四)	284	安芸郡教育会
	6月10日	(二)	84	本年度簡関點呼
	11日	(四)	95	十六日に移転する海田市町郵便局
	7月15日	(四)	139	熊野町榊山神社で近都市庭球大会
	26日	(二)	252	挽馬荒れて惨死
	8月4日	(三)	33	熊野町の賭博
	30日	(七)	277	熊野の神楽踊り
	11月17日	(二)	158	模範的の態度、消防組員整備
	12月1日	(三)	3	農産物品評会
	29日	(三)	273	熊野歳末夜警
昭和6年	2月2日	(三)	13	青訓生学童の連合発火演習
	16日	(三)	151	安芸郡熊野町青年団の活動
	3月2日	(三)	13	教員俸給の国庫負担陳情
	2日	(三)	13	本庄村の火事一放火の疑い
	9日	(三)	73	町村合併の犠牲
	23日	(三)	200	区長代理が癪だとして殴る
	24日	(二)	213	トラック三輪車に衝突

4月6日	(二)	44	教員異動
6日	(三)	45	山林ボヤ
13日	(三)	113	両税講演会
14日	(七)	123	関係ある酌婦へピストル発射
15日	(七)	132	熊野の殺人未遂後報
20日	(三)	180	助成金の嘆願
27日	(三)	254	壇上の争覇戦
30日	(三)	282	熊野労友会創立総会
5月18日	(三)	167	音楽研究会
25日	(二)	240	広島県下の篤行者六十五名 節婦
29日	(二)	288	保険金詐欺の放火だった
30日	(二)	298	放火検証
6月8日	(三)	63	熊野町上水道落成通水式
12日	(四)	97	熊野町の県下庭球大会
20日	(二)	180	詐欺、窃盗
7月6日	(三)	53	熊野町の軟式庭球大会
8月24日	(三)	225	職業紹介開始、熊野矢野間の県道
10日	(三)	91	熊野町長の脱税を攻撃
9月11日	(一)	106	広島県議戦展望
25日	(三)	248	少年赤十字団
28日	(三)	270	熊野町少年赤十字団
28日	(三)	270	各候補者町村別得点
11月2日	(三)	13	熊野の競馬会
16日	(三)	159	細川中隊へ慰問袋を贈る
30日	(三)	295	一升瓶で殴る
12月7日	(三)	63	全国児童の書方展覧会
28日	(三)	276	三年前の詐欺……
昭和7年 1月25日	(三)	259	熊野信組総会

- 2月1日 (三) 3 荷馬車荒れて老人を傷つく
15日 (三) 150 出征者家族慰問
15日 (三) 150 学童の窒息
22日 (三) 230 安芸郡北部は良好な投票率
3月7日 (三) 71 通工中の女工を襲う
14日 (三) 143 安芸郡教員会総集会
14日 (三) 143 熊野町の賭博……
4月2日 (二) 12 小学校教員異動
18日 (三) 165 馬匹去勢実施
25日 (三) 237 婦徳高女校後援会発会式
5月30日 (三) 282 安芸郡の狩猟
6月13日 (三) 119 金塊を窃取
17日 (四) 161 県下オープン軟式庭球大会
7月4日 (三) 33 肥料運搬の業者に打撃……
13日 (四) 130 熊野の庭球会
8月1日 (三) 3 熊野町に開催の消防講習会
5日 (四) 42 依然として解決は困難……
31日 (四) 308 習字時間延長の地方的運動開始
9月12日 (三) 119 安芸郡北部郷軍武術大会
昭和8年 1月1日 (四) 20 謹賀新年 3ヶ所
1日 (八) 24 賀正 15ヶ所
16日 (二) 180 新年コドモ懸賞、正解・当選者
25日 (二) 271 広島県の地方選挙期日
26日 (二) 287 熊野町に痴情の放火
2月5日 (七) 45 待たるる駅伝の壮挙、安芸郡の選手
20日 (三) 198 炭疽予防注射
20日 (三) 198 松丸太の下敷
20日 (三) 198 老婆の焼死

	3月13日	(三)	127	安芸郡教育会総会
	4月2日	(二)	14	広島県下小学教員大異動
	5月7日	(七)	67	手長少年
	22日	(三)	223	青葉の熊野町の賑ひ
	6月5日	(三)	43	熊野の筆泥棒
	7月4日	(二)	40	呉線列車とトラック衝突
	18日	(二)	184	熊野の農民芸術
	8月21日	(三)	206	各自炊事用品携帯三日間修養会
	28日	(三)	278	明田橋開通式
	9月2日	(一)	13	実補教員と小学校教員大異動
	18日	(三)	168	野犬を殺しては鶏肉に混ぜて販売
	11月3日	(四)	23	安芸郡の選手
	27日	(三)	263	生徒の成績品展示会
	12月29日	(三)	263	熊野町消防組頭決定
	30日	(三)	275	榎貯蔵割当
昭和9年	1月1日	(八)	20	賀正 6ヶ所
	2月26日	(三)	263	農業経営講習会
	3月17日	(一)	139	広連管内の徴兵検査
	4月1日	(二)	2	教職員の大異動
	11日	(一)	87	三部門の委員会で討議
	12日	(二)	98	芸鉄列車トラックを壊す
	8月6日	(三)	53	待合室あらし
	13日	(三)	117	信用組合長招待宴
	9月5日	(二)	44	拳の罪へ
	21日	(三)	204	お祭りが来る安芸郡内各氏神社
	10月3日	(四)	25	筆の町の悩み
	11月22日	(二)	215	海軍志願兵徴募検査 広島県下の日割
	30日	(二)	292	元警官を相手取り慰籍料請求訴訟

	12月3日	(三)	31	いよいよよきのふ全国書道展蓋開
	23日	(一)	235	可決された建議案 昭和村～本庄村間道路改修
	27日	(四)	283	俵米展と俵装競技会
昭和10年	1月1日	(七)	23	書方入選者 (26頁も)
	1日	(四)	28	年始広告 熊野町役場他
	15日	(一)	155	実補校設備費 補助配当額決定
	15日	(七)	163	罪と罰 14日 広島区裁判所で……
	16日	(七)	173	罪と罰
	22日	(七)	233	安芸体協の第1回予選大会
	2月17日	(二)	181	実子にスリを働かせた母親
	3月15日	(二)	144	広島県下の徴兵検査 (上)
	20日	(二)	192	連行の途中逃走
	31日	(二)	316	小学校教員異動
	4月29日	(四)	262	俳句 特選
	5月4日	(二)	36	小麦の病害予防、指導地を新設
	7日	(二)	68	湊川神社から節婦として表彰
	27日	(二)	248	選抜学童図画競技大会
	27日	(七)	251	節婦渡チセ媼へ栄えの菊水旗
	6月5日	(二)	44	農山漁村の負債整理 着々と進む
	11日	(二)	104	簡閲點呼 広島管内
	24日	(三)	237	優勝舌論大会 熊野町で開く
	7月10日	(一)	97	広島県下の市町村税
	8月16日	(二)	160	広島県の森林治水事業
	19日	(三)	191	県下青年学生優勝弁論大会
	23日	(二)	228	死因に疑問符 安芸郡熊野の怪事件
	9月5日	(二)	48	青年学校 新任教員命令
	16日	(二)	152	酔うて喧嘩

	16日	(三)	157	秋を飾る行事 熊野町の筆祭
	30日	(三)	304	筆祭りの日に 筆職らの賭博
10月	4日	(七)	39	熊野町役場へ怪盗
	15日	(一)	147	台湾博への出品 広島県から約8000点
	22日	(二)	218	中国会総会 林里見(熊野)
	25日	(二)	244	自動車と衝突 老人重傷
	26日	(七)	265	下駄で立廻り
11月	2日	(三)	21	体育会優勝者 熊野町青年団
	5日	(二)	54	席上揮毫で入選者決定 広島県下学童競書会
	10日	(二)	100	海軍志願兵 広島県下徴募検査日割
	17日	(三)	180	拳銃自殺 神経衰弱から
	19日	(一)	194	中国支部主催の酒類、醬油品評会褒賞
	22日	(七)	232	広島、山口両県青年校対抗演習 堂々たる両県の編成
	25日	(三)	264	新穀感謝祭、安芸郡各町村
	25日	(三)	264	毛筆神社建立 近く工事着工
12月	29日	(三)	306	あの町この村 安芸
昭和11年	1月	(二)	34	毛筆王国 熊野町紹介
	14日	(一)	145	選筆肅正青年優勝弁論大会出演者決定
	2月	(四)	252	安芸郡各町村開票成績
	26日	(七)	276	一票一円で買収 渡辺派の違反発覚
3月	24日	(二)	263	徴兵検査日割
	28日	(二)	303	師範卒業生配当
	30日	(三)	328	熊野町馬匹奨励会では……
	31日	(二)	341	広島県教員大異動
	5月	(二)	68	青年学校の視察 広島県下日程決まる
	6月	(二)	302	簡易保険の巡回健康相談
	7月	(一)	113	戸数の少い町村ほど住民の負担が重い

- 8月6日 (二) 58 広島県下市町村長会議 被表彰者
- 9月14日 (三) 135 全国一を誇る熊野町の筆祭り
- 28日 (二) 284 安芸郡熊野町の火事
- 10月6日 (三) 65 熊野第一小学校秋季運動会
- 8日 (三) 89 熊野のバクチ
- 11日 (三) 127 熊野町青年団では ……
- 13日 (三) 149 熊野筆を献上、聖上階下の江田島行幸に
- 16日 (二) 184 中国会総会 出席会員 林里見(熊野)
- 21日 (三) 235 熊野の新宮青年分団 国旗掲揚台建設
- 10月27日 (三) 307 斉戒沐浴して熊野筆を謹製 安芸郡教育会で
献上
- 27日 (三) 307 無銭飲食二人男 海田市署へ

明治期熊野村の行財政・産業経済関係の資料

佐 中 忠 司

熊野村の行財政ならびに産業経済に関する統計資料として、比較的まとまったものに、「熊野村報告事跡」他がある。ここに紹介されるものは、それらのうち現存しているもので、「熊野村統計調査表村控」（明治21年、同22年作成、以下同じ）「熊野村統計報告事跡」（明治27年）、「熊野村統計報告事跡」（明治28年）、「熊野村報告事跡」（明治29年）、「熊野村統計報告事跡」（明治30年～同41年、および同43年～44年）、「熊野村報告事跡」（明治42年）である。記入にあたっては漢数字を除きできるだけ元のままの表現を残すところをこころがけた。

これらの統計資料によって、それぞれの項目についての変動を知ることができ、いまその主なものを項目別に整理して列挙すると、つぎのようなものがある。

〔土地関係〕

- 田畑一年作地反別
- 一毛、二毛作田地
- 田畑面積別戸数
- 田畑・宅地、山林別面積及び地価
- 牛馬耕をなす田畑
- 共有地利用状況

- 農工一日当り賃銭
- 綿作（反別、見積産額）
- 茶収穫高
- 耕作用牛馬頭数
- 農事講習会出席者
- 溜池、水路

〔畜産〕

〔農業関係〕

- 稲単位面積当り本数、苗代面積、作付月日
- 産米、輸出入、消費米
- 熊野村内における消耗高
- 麦被害報告
- 稲被害報告
- 肥料共同購入

- 牛馬売買価格

〔工産物〕

- 筆製造（職工、数量、価格）
- 夏、秋蚕

〔行財政関係〕

- 土木費
- 町村歳入出決算表
- 町村歳入出予算表

○納税状況

○財産明細表

○負債明細表

○選挙権所有者数

○町村会

○町村吏員数、月給

○徴発物件供給高

[会社・金融関係]

○製筆会社

○銀行

○銀行の金利歩合

○質屋の貸金、金利歩合

[民業関係]

○民業調査一農・工・商戸数

○商売戸数

○諸雇1日当り賃銭

○職工内訳

○車数

[教育関係]

○学務委員など

○公学資産

○学令人員

○小学校教員加俸表

○公学費

○加設科目及び小学校説明

○村立小学校授業料

○村立小学校俸給

[人口出入]

○旅客出入高

○海外移民

[その他]

○水害表

○倉庫、社寺、学校、製造所、病院、
水車場数

○熊野村輸出入量

明治21年 1月 統計調査表村控

工業製品	製造地名	製造主	職	1ヶ年製造額	
				数量	槩価
筆	熊野村	凡150人	凡300人	凡17万5千本	凡1,400円

以上前年に異動なし

村名	戸数	人口		人夫	牛	馬	物産
		男	女				
熊野村	1,136	3,005	2,835	830	406	46	米、麦、大豆、 小豆、甘薯、毛筆

寺院数	学校数	水事場	職工
2	3	3	335(330か)

内 大工 35人、木挽 36人、泥工 2人
 石積工 5人、穴掘工 1人、桶工 6人
 鍛工 11人、茅屋根葺 77人、筆造工 157人

③ 人夫年令区別

	17年～30年	30年1ヶ月～45年	45年1ヶ月～50年	合計
	346	396	88	830

員数	乗馬	駄馬	馬	牛
	1	5	28	400
—	12	—	6	

⑤ 明治20年12月中平均賃価調

	乗馬	駄馬	馬	牛	人夫
1日使用賃価	50銭	35銭	30銭	27銭	20銭

町村名	本籍戸数	現住戸数	本籍人員			現住人員		
			男	女	計	男	女	計
熊野村	1,136	1,123	3,201	2,914	6,115	3,009 <small>[3,005の訂正あり]</small>	2,836 <small>[2,835の訂正あり]</small>	5,845

⑦ 人口の出入 (明治20年12月31日現在)

熊野村	出						
	外国行		管外へ出寄雷		管内へ出寄雷		陸海軍在營卒
	男	女	男	女	男	女	男
	1	—	48	28	30	19	7

		入			
逃亡、失踪		管外ヨリ入寄雷		管内ヨリ入寄雷	
男	女	男	女	男	女
101	21	3	2	10	3

⑧ 本籍人族別 ()

	戸主		家族		棄児	
	男	女	男	女	男	女
華族	—	—	—	—	—	—
士族	3	1	2	4	—	—
平民	1,232	41	1,964	2,868	—	—
合計	1,235	42	1,966	2,872	—	—

合計		
男	女	合計
—	—	—
5	5	10
3,196	2,909	6,105
3,201	2,914	6,115

⑨ 耕作及捕魚採藻業戸数 ()

耕作業						
自作			小作			合計
専業	兼業	捕魚採藻兼業	専業	兼業	捕魚採藻兼業	
650	221	—	22	170	—	1,063

捕魚・採藻業はなし。

⑩ 耕作人員 (明治20年12月31日現在)

農 業 者					1 年作及小作人			
専 業		兼 業		合計	自作	自作兼小作	小作	合計
男	女	男	女					
1,209	807	703	47	2,766	1,950	750	66	2,766

⑪ 田畑一年作地、小作地概算 (" ") (単位：歩)

1 年作地反別			小 作 地 反 別		
田	畑	計	田	畑	計
3,035,820	956,021	3,9991,911 [3,771,841か?]	1,301,107	318,700	1,619,807

⑫ 牛 数 (" ")

種 別	種別 年令	農 用		
		牝	牡	計
内 種	2才以上	—	406	406
	當 才	—	—	—

運搬用、繁殖用、乳用はなし。

雑種、外種 (洋種、純粹洋種) はなし。

⑬ 馬 数 (" ")

種 別	種別 年令	運 搬 用			農 用			合計
		牝	牡	計	牝	牡	計	
内 種	2才以上	—	17	17	—	28	28	45
	當 才	—	—	—	—	—	—	—

繁殖用はなし。

雑種、外種はなし。

⑭ 麦作槩況表

	作付反別	1 反歩見積産額	1 反歩ニ付平年ヨリ比較	
			増	減
大 麦	1,279反600歩	400合	—	40合
小 麦	25〃100〃	950〃	—	60〃
裸 麦	2,632〃815〃	900〃	—	70〃
三 種	3,937〃715〃	2,905,250〔?〕	—	17〃〔?〕

四月下旬に暴風雨が3、4回あり、減収の見込み。

⑱ 養蚕槩況数

	養蚕家数	原紙掃立枚数	成繭見積産額	桑葉1貫目価額	養蚕婦1日賃銭
	1	1枚ノ8分ノ1	1斗三升	350厘	25銭

⑳ 茶槩況報

茶畑反別	1反歩見積産額	1反歩ニ付キ前年ニ対スル比較		製造人1日賃銭
		増	減	
11反514歩	—	—	—	11銭

㉑ 麦収穫石高概算

平年収 穫石高	平年ヨリ增收穫高		平年ヨリ減収穫高		増減差引 収穫高	内 訳	
	科 目	石 高	科 目	石 高		種 類	石 高
237,323升	気 候 本 順	210,000合	気 候 不 順	20,300合	273,693升	大麦	499,840合
	旱 燥 地 出 来 栄	—	旱	—		裸麦	2,213,245合
	湿 地 ヶ	—	風 雨 □ (霜 か) 害	173,000合		小麦	23,845合
	障 碍 地 ヶ	—	小 霜 霽 害	—		合計	273,693升
	培 養 適 良	—	障 碍 地 出 来 劣	—			
	植 地 作 付 増	418,000合	虫 害 病 癘	13,000合			
	合 計	628,000合	鳥 獣 害	8,000合			
			事 故 ア リ 出 来 劣	—			
			植 地 作 付 減	50,000合			
			合 計	264,300合			

㉒ 宝発物件各戸・営業ニ係ル共給高概算表 (明治21年)

	米	麦	秣莖	味噌	塩	醬油	漬物	薪	梅干	炭
各戸ニ係ル	98石	□石 (150 か)	—	150貫	7石	—	4斗樽80隻	1万1200貫	1石	—
営業ニ係ル	—	—	—	20貫	2石1斗	3枚石	—	300貫	—	—

㉓ 綿作槩況表

	作付反別	1反歩見積産額	1反歩ニ付平年ヨリノ比較	
			増	減
早綿	—	—	—	—
中綿	52反	25貫	5貫	—
晚綿	—	—	—	—
計	52反	25貫	5貫	—

②4 米作概況表 (明治21年)

	作付反別	1反歩見積産額	1反歩ニ付平年ヨリノ比較	
			増	減
早 稻	452反	1石400合		50合
中 稻	1,947反	1ノ500ノ	50合	
晚 稻	1,902反600歩	1ノ300ノ		50合
計	4,301反600歩	4ノ200ノ	50合	100合

②5 煙草作概況表 (ノノ)

	作付反別	1反歩見積産額	1反歩平年ヨリノ比較	
			増	減
丸 葉	13反311歩	37貫	—	—
□ 葉 〔標カ〕	2ノ411ノ	37貫500刃	—	—
長 葉	—	—	—	—
計	15ノ722ノ	74ノ500ケ	—	—

明治22年 1 月統計調査表控

① (明治22年 1 月 1 日現在)

乗馬	駄馬	馬	牛	荷車大八車	〃大七車	〃中車	〃小車	人力車
3	8	29	402	—	—	—	1	—
0	16	—	10	—	—	—	—	—

② 人夫年令別人口 (〃 〃)

	17年～30年	30年1ヶ月～45年	45年1ヶ月～50年	合 計
	355人	408	78	841

③ 1 日当りの使用賃価 (明治21年12月中平均)

	1 日使用賃価	1 里使用賃価
乗 馬	50銭	9 銭
駄 馬	35〃	6 銭 5 厘
馬	30〃	5 銭
牛	27〃	4 銭 5 厘
人 夫	20〃	3 銭 5 厘
荷 車 小 車	6〃	1 銭
全要スル車夫	18〃	3 銭

④ 売買価格 (〃 〃)

	乗馬	駄馬	馬	牛	荷 車 大八車	〃大七車	〃中車	〃小車	2人乗 人力車	1人乗 人力車
売買価	22円	17.50円	16.10円	15.20円	—	—	—	2.80円	—	—

⑤ 徴発物件概算表 (?)

戸 数	人 口		人夫	牛	馬	車輛
	男	女				
1,135	3,243	2,928	841	412	56	1
物 産						
米、麦、大豆、小豆 甘薯、毛筆						

⑥ 徴発物件調査表 (明治22年)

戸数	各戸坪数	人口		人夫	官廩	寺院数
		男	女			
1,135戸	12,845坪	3,090人 <small>(3,243を訂正)</small>	2,885人 <small>(2,928を訂正)</small>	1,041人 <small>(841を訂正)</small>	1個	2軒
学校数	水車場	職工				
2軒	3個	441				

内 大工 37人、木挽 41人、泥工 1人、石積工 6人
 桶工 6人、鍛工 12人、茅屋根葺 66人
 筆造工 272人

⑦ 耕作及捕魚採藻業戸数 (明治21年12月31日現在)

耕作業							合計
自作			小作			合計	
専業	兼業	捕魚採藻兼業	専業	兼業	捕魚採藻兼業		
645戸	183	—	31	180	—	1,039	

捕魚採藻業はなし。

自作数昨年ヨリ五戸減シ兼三十八戸減ス、小作数九十戸増え兼十戸増ス。

(朱書) { 布表合計前年式十四戸ヲ減ルハ農ヲ止メ工就シモノナリ又自作減シテ小作ノ
 増エタルハ自作 負債償却ノタメ耕作地ヲ売却シ尚之レヲ小作スル□〔為か〕
 ス□〔如か〕増減ヲ生スルナリ

前年ニ大差アルハ前年ハ村外ニ出稼人数□アリ本年ハ……………

⑧ 耕作人員 ()

農業者					自作及小作人				
専業		兼業		合計	自作及小作人				
男	女	男	女		自作	自作兼小作	小作	合計	
1,290	967	640	55	2,952	1,935	1,418	93	3,446	

⑨ 田畑自作地小作地概算 ()

自作地段別			小作地段別		
田	畑	計	田	畑	計
3,045,620歩	1,022,621	4,068,311	1,301,004	255,700	1,556,704

⑩ 人口の出入 ()

		出					
外 国 行		管外へ出寄留		管内へ出寄留		陸海軍右営艦現役夫	
男	女	男	女	男	女	男	
6	—	60	35	33	19	6	

				入			
監獄ニアル囚人		失 踪		管外ヨリ入寄留		管内ヨリ入寄留	
男	女	男	女	男	女	男	女
3	1	91	14	4	6	41	20

⑪ 筆製造

工業製品	製造地名	製 造 主	職 工	1ヶ年製造額	
				数 量	槩 価
筆	熊野村	凡150人	凡300人	凡500万本	1万5千円
	前年分	凡150人	凡300人	凡17万5千本	1400円

⑫ 牛・馬数 (明治21年12月31日現在)

種別	運 搬 用	農 作			繁 殖 用			合 計		
		牝	牡	計	牝	牡	計			
牛	2才以上	—	—	—	—	412	412	—	—	412
	當 才	—	—	—	—	—	—	—	—	—
馬	2才以上	2	25	27	—	29	29	—	—	56
	當 才	—	—	—	—	—	—	—	—	—

乳用の牛は0。牛・馬ともに内種。

⑬ 農産物産額概算（明治21年）

	作付段別	収 穫 高		作付段別	収 穫 高
大 豆	156,800歩	109,760合	藺	—	—
粟	179,600歩	179,600 〃	小 豆	375,000歩	30,000合
稗	—	—	蚕 豆	76,800〃	76,800〃
黍	20,000〃	16,000〃	豌豆	21,000〃	22,110〃
蜀 黍	15,000〃	15,000〃	菜 種	—	—
蕎 麦	255,600〃	127,800〃	藍 葉	7,500〃	262,500両
玉蜀黍	—	—	甘 蔗	—	—
甘 藷	698,500〃	104,775,000両	蒟蒻玉	—	—
爪哇薯	—	—	楮 皮	—	—
貫 綿	55,600〃	1,112,000両	碾 茶	—	—
大 麻	—	—	玉 露	—	—
苧 麻	—	—	煎 茶	—	—
			番 茶	—	546,400両

その他、釜熬、紅茶、烏龍は0。

⑭ 諸製作及製造品（ 〃 ）

	数 量	代 価
木綿織物	4,100反	615円000厘
毛 筆	5,000,000本	15,000円000厘
籠	950個	12円450厘

前年ニ対シ大差ヲ生スル以所ハ本年ハ販路開ケ事業盛大ニシテ故ト兼業者
モ他業ヲ止メ之レヲ專業トナシタルヨリ斯ル差ヲ見ル至レリ

⑮ 麦作付反別及収穫石高概算（明治22年）

	畑		1反歩	田		1反歩	合 計	
	本年作付反別	本年収穫高	収穫高	本年作付反別	本年収穫高	収穫高	田畑作付反別	田畑収穫高
大麦	965,000歩	366,700合	380合	285,600歩	171,360合	600合	1,250,600歩	538,060合
裸麦	50,000	30,000	600	2,430,427	2,260,355	930	2,480,427	2,290,355
小麦	10,500	5,775	550	24,500	24,010	980	35,000	29,785
計	1,025,500	402,475	—	2,740,527	2,455,725	—	3,766,027	2,858,200

⑩ 養蚕概況数（明治22年）

	養蚕戸数	原紙立枚数	成繭見積産額	桑葉一貫目ノ価額	養蚕家婦女1日賃銭
	7戸	1枚1分	1石250合	4銭	ナシ

⑪ 藍作概況

	作付反別	一反歩ニ當ル葉藍見積産額
	15,700歩	30貫

霖雨多く、虫類の発生によって十分な収穫が得られず、これは当年より創業されたものであり、平年の収益額はわからない。

⑫ 呈発物件各所ニ營業ニ係ル共給高概算表

	米	麦	秣藪	味噌	塩	醬油	漬物	薪	梅干	炭
各戸ニ係ル	102石	161石	—	140貫目	7石3斗	—	4斗樽70挺	1万2千貫	1石3斗	—
營業ニ係ル	—	—	—	ホ1貫目	2石	30石	—	400貫目	—	—

⑬ 米作概況表

種別	作付反別	1反歩見積産額	1反歩ニ付平年ヨリ比較	
			増	減
早稲	331 000	910合	—	540合
中稲	2150 800	1石050合	—	400合
晚稲	1819 900	845合	—	505合
三種	4301 700	2石805合	—	1石445合

霖雨にみまわれ、成育期間である7、8月において雨天が多く太陽の熱照が少なく凶作となった。早稲、晚稲は10分の6、中稲は10分の7を収穫するの見込みなり。

⑭ 綿作概況表

	作付反別	1反歩見積産額	1反歩ニ付平年ヨリノ比較	
			増	減
早綿	—	—	—	—
中綿	50反	8貫	—	12貫
晚綿	—	—	—	—
計	50反	8貫	—	12貫

②① 煙草作概況表

	作付反別	1反歩見積産額	1反歩ニ付平年ヨリノ比較	
			増	減
丸葉	8反114歩	30貫60双	—	9貫400双
□標カ葉	507歩	25貫	—	2×500双
長葉	—	—	—	—
計	8反621歩			

②② 米穀作付反別及収穫石高概算 (明治22年)

	本年作付反別	本年収穫高	1反歩収積高
粳米	4,091,700歩	4,296,185合	1石050合
糯米	210,000歩	242,550合	1石155合
陸稲	—	—	
計	4,301,700歩	4,538,735合	

明治27年統斗報告跡綴

① 本籍人族別 (明治26年12月31日現在)

	戸主		家族		棄兒		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	計
華族	—	—	—	—	—	—	—	—	—
士族	5	—	2	10	—	—	7	10	17
平民	1,226	50	2,042	2,920	—	—	3,268	2,970	6,238
合計	1,231	50	2,044	2,930	—	—	3,275	2,980	6,255

② 牛・馬数 ()

	種別 年令	運搬用			農作			繁殖用		合計	
		牝	牡	計	牝	牡	計	牝	牡		計
牛	2才以上	—	—	—	4	369	373	—	—	—	373
	當才	—	—	—	—	12	12	—	—	—	12
馬	2才以上	1	22	23	2	23	25	—	—	—	48
	當才	—	—	—	—	2	2	—	—	—	2

牛、馬ともに内種。乳用の牛は0。

③ 町村吏員表 ()

	人員	月俸	報酬金
村長	1		2円
助役	1		
収入役	1	3	
書記	6	18	
合計	9	21	3

④ 人口出入 (明治26年12月31日現在)

			出			
			外国行	他府県出寄留	他郡市出寄留	陸海軍在營艦者
			17	104	83	10

			入		
他町村出寄留	囚人及懲役人	失踪人	他府県入寄留	他郡市入寄留	他町村入寄留
18	4	100	11	42	43

⑤ 米穀作付段高及収穫石高平年比較表

	種類	作付反高	収穫石高	1反当り収穫高
25年	粳米	4,114反200歩	5,801石022合	1石410合
	糯米	181ノ000ノ	235ノ300ノ	1ノ300ノ
	陸稻	—	—	—
	計	4,295反200歩	6,036石322合	—
26年	粳米	4,001反110歩	1,356石639合	564合
	糯米	165ノ020ノ	84ノ186ノ	510ノ
	陸稻	—	—	—
	計	4,166反200歩 [4,166反130歩か]	2,340石825合	—
差引	増減	4,166反130歩 129反 [129反070歩か]	3,695石497合	

作付反高が昨年に比べ減少しているのは、本年の旱害によるため。

⑥ 織物産額概算 (明治25年)

	何 地		其 他	
	数 量	金 額	数 量	金 額
白木織 (木綿織物)	—	—	1,800反	270円

昨年ニ比シテ減少[セ?]シハ木綿収穫ノ少ナキニ依ル尚旱害及流行病ノ為ニ織工ノ余暇ナカリシナリ

⑦ 柿、生蠟、漆汁、椎茸、香茸産額概算（明治25年）

柿	生 蠟	漆 汁	椎 茸	香 茸
210貫	—	—	—	5貫目

⑧ 田畑自作地小作地概算（明治26年12月31日現在）

自 作 地 反 別			小 作 地 反 別		
田	畑	合 計	田	畑	合 計
3,045反	1,000反	4,045反	1,300反	383反	1,583反

⑨ 桑茶園反別及採取高（明治25年）

	本 年 間		本年未現 在 反 別	取 葉 高	1反取葉高	御内山野其他見積	
	新反別人	廢園反別				反 別	取 葉 高
桑園	600歩	—	6,100歩	2,350貫	最高269貫 最低145貫	—	—
茶園	—	—	9,420歩	407貫	最高560貫 最低420貫	2,000歩	74,000双

⑩ 製茶産額概算（明治26年）

碾茶	玉露	煎茶	番 茶	釜熬	紅茶	烏龍	合 計	製茶家数
—	—	—	407貫	—	—	—	407貫	258戸

⑪ 繭産額概算（ ）

春 繭					夏 繭				
繭	玉繭	屑繭	出殻繭	計	繭	玉繭	屑繭	出殻繭	計
2,980合	260合	80合	40合	3,360合	—	—	—	—	—
養蠶家数				8戸	養蠶家数				

⑫ 大豆外22種作付反別及収穫高概況

	作付反別	収 穫 高	1反歩収穫高	増減事由
大 豆	170反	68,000合	400合	前年ヨリ5升減
小 豆	50	4,800	96	2斗8升4合減
蚕 豆	85	52,000	600	5升減
碗 豆	20	12,000	600	5升減
菜 種	7	2,800	400	8升減
粟	190	280,000	200	3斗5升減
黍	6	24,000	400	2斗8升減
蜀 黍	13	5,150	500	2斗8升減
蕎 麦	555	111,000	200	2斗減
藍 葉	5	150,000両	30貫	前年ニハシ
楮 皮	3	39,000	13	□□〔当年か〕打
煙 草	5	150,000	30	13貫減
蘿 蔔	210	10,500,000	50	20貫減
玉 蜀 黍	2	1,600合	8斗	7斗減
甘 藷	425	8,500,000両	30貫	58貫減
爪 哇 薯	2	100,000	50	10貫減
實 綿	60	420,000	7	9貫減

⑬ 物産収穫高 (明治26年12月31日現在)

玄米	大麦	小麦	裸麦	鹽	味噌	醬油	漬物	梅干	秣藁	藁
3,256,639 〔石カ〕	508石	2,145升	16,535石	—	450貫	4石	1,200樽	15挺	—	216,212貫

⑭ (明治27年7月1日現在)

乗馬	駄馬	馬	牛	荷車大八車	〃大七車	〃中車	〃小車	〃人力車
2	15	10	350	—	—	7	2	—
1	3	—	10	—	—	2	1	—

⑮ 人夫年令別人数 (明治27年7月1日現在)

17年~30年	30年1ヶ月~45年	45年1ヶ月~60年	合 計
325人	389人	80人	794人

⑯ 1日当りの使用賃価（明治27年7月1日現在）

	1日使用賃価	1里使用賃価
乗馬	1円	10銭
駄馬	60銭	8銭
馬	45	7
牛	45	7
荷積中車	6	1
〃要スル人夫	35	6
〃小車	6	1
〃要スル人夫	35	6
人夫	40	6

⑰ 売買価格（明治27年6月中平均）

	乗馬	駄馬	馬	牛	荷積大八車	〃大七車	〃中車	〃小車	2人乗人力車	1人乗人力車
売買價	25円	20円	15円	18円	—	—	4円	3円50銭	—	—

⑱ 桑茶畑反別（明治27年6月30日現在）

	段別	見積反別	増減事由
桑畑	5,500歩	—	前年ニ比シ増減ナシ
茶畑	—	9,500	

⑲ 春蚕（明治27年分）

飼養戸数	繭	玉繭	出殻繭	屑繭	計
14戸	2,000合	1,500合	150合	380合	3,030合

⑳ 麦 (明治27年分)

	作 付 反 別				収
	大 麦	裸 麦	小 麦	計	大 麦
田	278,000歩	2,445,000歩	24,000歩	2,747,000歩	291,900合
畑	1,005,000	35,000	17,000	1,057,000	281,400

穫		高	1反歩二付収穫高		
裸 麦	小 麦	計	大 麦	裸 麦	小 麦
1,833,750合	18,000合	2,143,650合	1,050合	750合	750合
8,750	6,290	296,440	280	250	370

㉑ 徴発物件供給高 (明治27年)

	米	麦	秣	味噌	塩	醬油	漬物	薪	梅干	炭
営業者二係ル	2石	5石	—	5貫	1石	3石	—	300貫	—	—
各戸二係ル	50石	50石	50貫	50貫	10石	3石	50挺	500貫	1石	120貫

㉒ 米 (明治27年分)

	作 付 反 別				計	粳 米
	粳 米	糯 米	陸 米			
	40,851畝	1,810畝	—		42,661畝	45,753斗

収 穫 高			1反歩二付収穫高		
糯 米	陸 米	計	粳 米	糯 米	陸 米
1,909斗	—	47,662斗	1,120合	1,055合	—

明治28年度 統計報告跡綴

① 戸口数 (明治27年12月31日現在)

	本 籍 人			現在戸数
	男	女	合 計	
	3,251	3,004	6,255	1,295

② 人口出入 (〃 〃)

	出				
	外 国 行	他府県出寄留	他郡市出寄留	他町村出寄留	陸海軍在營艦者
	26	106	74	16	33

	入				
	囚人及懲役人	失 踪	他府県入寄留	他郡市入寄留	他町村入寄留
	3	108	18	54	48

③ 学令人員 (明治27年)

修 学						既 卒 業	
就 学		学				退 学 者	
年末現員		本年卒業・退学者		本年半途退学者		男	女
男	女	男	女	男	女	男	女
323	97	39	2	9	2	39	2

不 修 学						未 卒 業	
未 就 学		学				退 学 者	
貧 窮		疾 病		其 他		男	女
男	女	男	女	男	女	男	女
17	43	20	84	14	8	48	53

④ 町村吏員表 (明治27年12月31日現在)

	人員	月俸	報酬料
村長 名譽職 10円未滿	1人	3円	2円
助役 〃	1人	3円	1円
収入役 6円未滿	1人	3円	
書記 〃	6人	18円	
合計	9人	37円	3円

⑤ 安芸郡徴發馬匹賃價表

	1日ノ賃錢				1里ノ賃錢			
	乘馬	駄馬	輓馬	操業者	乘馬	駄馬	輓馬	操業者
賃金	100錢	50	—	20錢	10錢	5錢	—	5
宿泊料并ニ食料	20	20	—	18				

⑥ (明治28年1月1日現在)

乘馬	駄馬	馬	牛	荷積大八車	〃大七車	〃中車	〃小車	人力車
—	14	10	340	—	—	5	1	—
—	5	2	10	—	—	1	1	—

⑦ 人夫年令別人数 (〃 〃)

	17年~30年	30年1ヶ月~45年	45年1ヶ月~60年	合計
	270	391	85	745

⑧ 売買價格 (明治27年12月中平均)

	乘馬	駄馬	馬	牛	荷積大八車	〃大七車	〃中車	〃小車	人力車
売買價	35円	25円	16円	20円	—	—	4円50錢	4円	—

⑨ 使用賃額 (明治28年 1月1日現在)

	1日使用賃	1里使用賃
乗馬	1円10銭	15銭
駄馬	70	10
馬	50	8
牛	50	8
荷積中車	7	1銭5厘
〃 要スル人夫	40	7
荷積小車	6	1銭5厘
〃 要スル人夫	40	7
人夫	40	7

⑩ 食用及特用農産物 (明治27年分)

	作付段別	収穫高	増減事由								
大豆	1,700畝	692斗	前年ニ大差ナシ								
小豆	412	148	前年ヨリ減少								
粟	1,700	580	前年ヨリ反別差ナシ、収穫増加セリ								
實綿	610	4,200百匁	前年大差ナシ								
葉畑(畑か)草	85	4,100	前年ニ比シ反別及収穫ホ増加セリ								
蕎麥	1,510	453	前年ヨリ反別大減、尚収穫減額セリ								
甘藷	7,200	652,850	前年ニ比シテ反別ノ増加セリ								
馬鈴薯	25	1,500	前年大差ナシ								
蠶豆	857	460	前ニ比シテ反別増加セシモ収穫減セリ								
豌豆	245	131	反別増加セシモ								
楮皮	30	423	前年同シ収穫減額セリ								
菜種	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2"> <table border="0"> <tr> <td>畑</td> <td>13</td> <td>40</td> <td rowspan="2">〃</td> </tr> <tr> <td>田</td> <td>50</td> <td>25</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> </table>	<table border="0"> <tr> <td>畑</td> <td>13</td> <td>40</td> <td rowspan="2">〃</td> </tr> <tr> <td>田</td> <td>50</td> <td>25</td> </tr> </table>	畑	13	40	〃	田	50	25		
			<table border="0"> <tr> <td>畑</td> <td>13</td> <td>40</td> <td rowspan="2">〃</td> </tr> <tr> <td>田</td> <td>50</td> <td>25</td> </tr> </table>	畑	13		40	〃	田	50	25
畑	13	40		〃							
田	50	25									
黍	60	24	反別ハ前年比シテ増加セシモ収穫減セリ								
蜀黍	130	65	〃								
蘿蔔	2,100	105,000	〃								
藍葉	50	1,500	前年ニ同シ								
故蘿蔔	30	1,500	本年ヨリ播種セリ前年比例ナシ								
牛房	20	600	〃								

⑪ 牛馬羊豚屠数 (明治27年 1月)

屠場数		1								
種別	頭数			斤量			価額			
	牝	牡	計	牝	牡	計	牝	牡	計	
成牛	—	64	64	—	11,226斤	11,226斤	—	67,810錢	67,810錢	
犢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
馬	1	6	7	50	757	807	1,500	27,552	29,052	
羊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
豚	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

⑫ 物産収穫高 ()

	玄米	大麦	小麦	裸麦	鹽
	45,662斗	2,733斗	68斗	8,500斗	—
味噌	醬油	漬物	梅干	秣藪	菓
5,500 <small>□</small> <small>〔千カ〕</small>	50斗	830樽	5樽	—	227,000双

⑬ 馬牛数 (明治28年分)

	年 末 現 数			左の内乳用	出 産	弊 死	
	牝	牡	計				
牛	内種	5	260	265	—	1	—
	雜種	—	50	50	—	—	—
	外種	—	36	36	—	—	—
	計	5	346	351	—	1	—
馬	内種	50	—	50	—	—	—
	雜種	—	—	—	—	—	—
	外種	—	—	—	—	—	—
	計	50	—	50	—	—	—

⑭ 織物 (明治27年分)

機 数	600台				
織工	男	—			
	女	610人			
			数 量	価 額	
綿	生 木 綿	3,000反		4,350錢	
	縞 木 綿	1,000		85,000	
	緋 木 綿	350		35,000	
	蚊 帳 地	50		2,000	
織	女帯地頭〔類か〕	100		3,000	
	其他ノ綿織物	500		25,000	

⑮ 蠶絲、真綿及蠶卵紙 ()

製絲戸数		生 糸		鬚斗絲	玉 絲	屑 絲 及屑物	真 綿	蠶卵紙製 造 戸 数	蠶卵紙製 造 枚 数
製造所	自 宅	器 械 取	其 他						
—	2 戸	—	100両	200両	500両	20両	150両	4 戸	4 枚

⑰ 質屋金利歩合 (明治28年)

10円に対する			1円に対する		
平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低
2歩03毛66	2歩4厘	2歩	2歩066	2歩5厘	2歩

⑱ 質屋の貸金 (明治20年)

店 数	年末現金		1年間の		1年間の		1年間の	
	貸出金額	口 数	貸出金額	口 数	受戻金高	口 数	流れ金高	口 数
3	436,080	327	842,300	601	544,250	443	32,970	61

① 牛馬羊豚屠数 (明治□(28か)年1月分)

	頭 数			斤 量			価 額		
	牝	牡	計	牝	牡	計	牝	牡	計
成 牛	—	10頭	10頭	—	2,916斤	2,916斤	—	18,954錢	18,954錢
犢	—	—	—	—	—	—	—	—	—
馬	—	9	9	—	1,875	1,875	—	7,500	7,500
羊	—	—	—	—	—	—	—	—	—
豚	—	—	—	—	—	—	—	—	—

② 春蠶 (明治28年分)

飼養戸数	繭	玉 繭	出 殻 繭	屠 繭	計
14戸	3,000合	550合	150合	380合	4,080合

③ 麦 ()

	作 付 反 別				
	大 麦	裸 麦	小 麦	計	大 麦
田	277,000歩	2,363,000歩	24,000歩	2,664,000歩	290,850合
畑	1,004,000	36,000	17,000	1,057,000	251,000

収 穫 高			1 反歩ニ付収穫高		
裸 麦	小 麦	計	大 麦	裸 麦	小 麦
1,772,250合	18,000合	2,081,100合	1,050合	750合	750合
8,280	6,290	265,570	250	230	370

④ 桑・茶畑段別 (明治28年 6月30日現在)

	段 別	見積反別	増 減 事 由
桑 畑	6,700歩	—	前年ニ比シ一反二畝歩ノ増作アリ
茶 畑	—	9,500歩	前年比シ増減ナシ

⑤ (明治28年 7月 1日現在)

	乗馬	駄馬	馬	牛	大八車	大七車	中車	小車	人力車
	9	17	14	348	—	—	6	3	—
	3	4	—	<small>[12あるい は15か]</small>	—	—	1	1	—

(下列は朱書)

②4 使用賃価 ()

	1 日使用賃価	1 里使用賃価
乗馬	1円	10銭
駄馬	60銭	8
馬	45	7
牛	45	7
荷積中車	6	1
全要スル人夫	35	6
荷車〔積か?〕小車	6	1
全要スル人夫	35	6
人 夫	40	6

②5 売買価 (明治28年6月中平均)

乗馬	駄馬	馬	牛	荷積大八車	〃大七車	〃中車	〃小車	2人乗人力車	1人乗人力車
30円	25円	15円	18円	—	—	4円	3円50銭	—	—

②6 徴発物件供給高 (明治28年)

	米	麦	秣	味噌	塩	醬油	漬物	薪	梅干	炭
営業者ニ係ル	5石	5石	—	5貫	1石	71石	—	300貫	—	—
各戸ニ係ル	80石	70石	20貫	70貫	10石	3石	50挺	700貫	5斗	150×

②7 茶 (明治28年分)

製造戸数	玉露	煎茶	紅茶	烏龍	番茶
258戸	—	—	—	—	407貫

②8 米 (明治28年分)

作付反別				収 穫 高				1反歩ニ付収穫高		
粳米	糯米	陸米	計	粳米	糯米	陸米	計	粳米	糯米	陸米
41,254畝	2,135畝	—	43,389畝	598,183斗	32,025斗	—	630,208斗	145斗	150斗	—

明治29年度報告跡綴

① 食用及特用農産物 (明治28年分)

	作付反別	收穫高	1反歩收穫高
大豆	160反	800斗	500合
小豆	50	150	300
粟	185	925	50
實綿	53	795貫	15貫
葉藍	5	150	30
葉畑 <small>(畑办)</small> 草	12	360	30
蕎麥	300	1,500斗	500合
甘藷	650	5,200貫	80貫
馬鈴薯	3	120	40
蚕豆	82	533斗	650合
豌豆	25	157	630
楮皮	3	60貫	20貫
牛房	3	750	250
蘿蔔	200	1,200	60
故蘿蔔	2	80	40
蜀黍	12	720斗	600合
芋	10	300貫	30貫
玉蜀黍	2	20斗	1,000合
菜種	畑作 田作	50	700[?]
		60	600[?]

② 牛馬羊豚屠数 (明治28年)

屠場数	1			斤量			価額			
	頭	数		牝	牡	計	牝	牡	計	
10月分	成牛	—	1頭	1頭	—	85斤	85斤	—	10円	10円
	馬	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11月分	成牛	—	1	1	—	78	78	—	8	8
	馬	5	6	11	250	360	610	12	18	30
12月分	成牛	—	3	3	—	280	280	—	30	30
	馬	3	7	10	180	400	580	9	20	19

③ 使用賃価

	1 日 の 賃 価				1 里 の 賃 価			
	乗 馬	駄 馬	輓 馬	操業者	乗 馬	駄 馬	輓 馬	操業者
賃 金	1,000厘	800厘	—	600厘	125厘	100厘	—	80厘
宿泊料并食料	300	300	—	300				

④ 物産収穫高 (明治29年 1月15日)

	玄 米	大 麦	裸 麦	塩	味噌
	6,302,080合	372,100合	1,780,480合	—	550貫
醬 油	漬 物	梅 干	秣 藪	藁	小 麦
82斗	850挺	3	250貫	450,000貫	11,200合

⑤ 戸口 (明治28年12月31日現在)

本 籍 人			現在戸数
男	女	計	
3,246	2,980	6,226	1,317

⑥ 人口出入 (明治29年 1月15日現在)

	出				
	外 国 行	他府県出寄留	他郡市出寄留	他町村出寄留	陸海軍在營鑑(鑑か)者
	23	109	80	38	16

囚人及懲役人	失 踪	他府県入寄留	他郡市入寄留	他町村入寄留
3	111	18	60	48

⑦ 本籍人族別 ()

	戸 主		家 族		棄 児		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	計
華 族	—	—	—	—	—	—	—	—	—
士 族	4	—	1	3	—	—	5	3	8
平 民	1,256	57	1,985	2,920	—	—	3,241	2,977	6,218
計	1,260	57	1,986	2,923	—	—	3,246	2,980	6,226

⑧ 乙号第1公立小学校生徒授業料月額并ニ不徴収及免除表

	授 業 料 多 寡 及 平 均			年 末 授 業 料
	最 多 月 額	最 寡 月 額	平 均 額	月 額 総 計
尋 常	240厘〔?〕	10	6 錢 4 リ 〔?〕3	24.500
同上ニ対スル 生徒総数	授 業 料 不 徴 収		授 業 料 免 除 生 徒	
	学 校	生 徒	全 額 免 除 除	一 部 免 除
381	—	—	2	2

⑨ 織物 (明治28年分)

		何 地		其 他	
織 機	戸 数	—		40戸	
		—		600	
織 工	男 女			550人	
		数 量	価 額	数 量	価 額
綿	生 木 綿	—	—	2,530反	506.00錢
	縞 木 綿	—	—	1,200	1,000.00
	緋 木 綿	—	—	400	500.00
	蚊 帳 地	—	—	50	13.00
織	女 帯 地 類	—	—	120	110.00
	其他綿織物	—	—	630	481.00

⑩ 牛馬数 (ヌ)

	年 末 現 況			左の内乳用	出 産	弊 死	
	牝	牡	計				
牛	内種	2	253	255	—	—	2
	雑種	—	57	57	—	—	—
	外種	—	—	—	—	—	—
	計	2	310	312	—	—	—〔2か〕
馬	内種	21	23	⁴⁵ 〔44か〕	—	—	3
	雑種	—	—	—	—	—	—
	外種	—	—	—	—	—	—
	計	21	23	⁴⁵ 〔44か〕	—	—	—〔3か〕

⑪ 蠶絲眞綿及蠶卵紙 (ヌ)

製絲戸数		生 糸		熨斗絲	玉 絲	屑 絲 及屑物	眞 綿	蚕卵紙製 造 戸 数	蚕卵紙製 造 枚 数
製造所	自 宅	器械取	其 他						
—	3	—	200双	20双	600双	30双	250双	5	7

⑫

総戸数	総人員	専 業		兼 業	
		戸 数	人 員	戸 数	人 員
1,317	6,226	721	3,600	597	2,626
自 作		自作兼小作		小 作	
戸 数	人 員	戸 数	人 員	戸 数	人 員
400	1,820	815	3,990	102	416

⑬ (明治29年1月1日現在)

乗馬	駄馬	馬	牛	荷車大八車	〃大七車	〃中車	〃小車	人力車
8	30	10	349	—	—	5	3	—
—	10	—	11	—	—	—	—	—

⑭ 使用賃価 (〃 〃)

	1日使用賃価	1里使用賃価
乗馬	1円	10銭
駄馬	60銭	8
馬	45	7
牛	45	7
荷車中車	6	1
全要スル車夫	35	6
荷車小車	6	1
全要スル車夫	35	6
人夫	40	6

⑮ 春蠶 (明治29年分)

飼養戸数	繭	玉繭	出殻繭	屠繭	計
14戸	350舁	60舁	18舁	40舁	463舁

⑯ 牛馬屠 (明治29年)

屠場数		1			斤量			価額		
		頭数			計			計		
		牝	牡	計	牝	牡	計	牝	牡	計
1月分	成牛	—	7頭	7頭	—	895斤	895斤	—	12円	12円
	馬	1頭	2	3	58斤	116	174	3	6	9
2月分	成牛	—	8	8	—	640	640	—	10	10
	馬	—	3	3	—	150	150	—	18	18
3月分	成牛	—	2	2	—	156	156	—	8	8
	馬	—	1	1	—	80	80	—	15	15
4月分	成牛	—	2	2	—	172	172	—	11(?)	11(?)
	馬	—	2	2	—	57	57	—	5	5
5月分	成牛	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	馬	—	1	1	—	58	58	—	5	5
7月分	成牛	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	馬	—	1	1	—	57	57	—	5	5
8月分	成牛	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	馬	—	1	1	—	58	58	—	5	5
9月分	成牛	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	馬	—	2	2	—	117	117	—	13	13

⑰ 麦 (明治29年分)

	作 付 反 別				收
	大 麦	裸 麦	小 麦	計	大 麦
田	278,000歩	2,356,000歩	25,000歩	2,659,000歩	222,400
畑	1,005,000	35,000	16,500	1,056,500	231,150

穫			高		
裸 麦	小 麦	計	大 麦	裸 麦	小 麦
1,484,280	14,000	1,720,680	8斗	6斗3升	56升
70,000	4,785	305,935	23升	2斗	29升

⑱ 桑・茶畑段別 (明治29年6月30日現在)

	段 別	見積段別	増 減 事 由
桑 畑	10,000歩	—	前年度ニ比シ三反三百歩増作アリ
茶 畑	—	9,500歩	増減ナシ

⑲ 徴発物件 (明治29年)

	米	麦	秣	味噌	鹽	醬油	漬物	薪	梅干	炭
営業者ニ係ル	300斗	100斗	—	10	10	20	—	500貫目	—	—
各戸ニ係ル	5,000	1,000	—	20	—	10	50樽	1,000	2樽	10

⑳

製造戸数	玉 露	煎 茶	紅 茶	烏 龍	番 茶
250戸	—	—	—	—	400メ

㉑ 米 (明治29年分)

	作 付 段 別			收 穫		
	粳 米	糯 米	陸 米	計	粳 米	糯 米
41,260畝	2,140畝	—	—	43,400畝	590,018升	2,782升

高		1 反歩ニ付収穫高		
陸 米	計	粳 米	糯 米	陸 米
—	592,800	143	130	